

☆。∴。★。∴。☆。∴。★。∴。☆。∴。★。∴。☆。∴。★。∴。

週刊 「宅老所・グループホーム全国ネットワーク NEWS」

《Vol.328 (通巻 373 号) 2010.6.17》

★。∴。☆。∴。★。∴。☆。∴。★。∴。☆。∴。★。∴。

~・♪~*・*~*・♪~*・*~*・♪~*・*~*・♪~*

会員のみなさま、新会員のみなさま、こんにちは。
サッカーの世界カップ南アフリカ大会も開幕し、
日本チームの活躍が楽しみな毎日です。
持てる力を出し切って、すばらしいゲームが見せてもらいたいですね。
また、なかなか知る機会のない
南アフリカ共和国という国の歴史や文化についても
考えさせられるきっかけになっています。

~・*~*・♪~*・*~*・♪~*・*~*・♪~*・*~*

..... 今週のトピックス _____

- ◆1◆ 実践報告 特定非営利活動法人つどい場さくらちゃん (兵庫県西宮市)
- ◆2◆ 新聞記事

..... _____

◆1◆ 実践報告

特定非営利活動法人つどい場さくらちゃん③ ◆◆-----◆

NPO 法人つどい場さくらちゃん (兵庫県西宮市) 理事長 丸尾多重子さん
～認知症高齢者を在宅で支えるための、
地域の居場所やデイサービスなどの役割 3～

<家族を10年間介護した経験から、介護をする人には、いつでも集える場所と、温かい食事が欠かせないと考えて、つどい場さくらちゃんを開設し、7年がたちました。さくらちゃんでは、行きたいところに行く「お出かけタイ」、介護などについて学ぶ講座を開催する「学びタイ」、在宅で介護している家族がリフレッシュしたいときやひとり暮らしが心配なお年寄りのための「見守りタイ」、そしてつどい場という4つの柱で本人が望む在宅での暮らしを支えています>

西宮市には、西宮市社会福祉協議会が事務局をしている認知症介護者の会が10年ほど前からあり、毎月1回、定例会をおこなっています。私自身も介護者の会の定例会に参加していました。そのつながりで、認知症の家

族がいつでもつどえる場として、さくらちゃんがあるんだよ、とお知らせしてきました。さくらちゃんを開設した当初は、介護者の会に来ていた人が来る場だったのですが、最近では、さくらちゃんに来られた方が介護者の会の情報を得て、そちらにも参加をするようになってきました。

社協や行政も少しずつ変わってきました。地域包括支援センターの方が、なかなかサービスが使えない要支援の方の見守りを、つどい場さくらちゃんの見守りタイに依頼されることもあります。そこからつながって家族がつどい場に見えたりもしています。やり続けることで少しずつつながりが広がっていくことを実感しています。

さくらちゃんの活動は、絶対に必要だと思って始めましたが、始めてから1年はほとんど誰も来ませんでした。それでも毎日、お昼ご飯をつくって待っていました。2009年11月に現在の一軒家の借家に引っ越しましたが、それまではマンションを借りていました。車で来られる人が多いので、家賃を払い、駐車場代を支払い、入ってくるお金は少ないので、経営は厳しいです。続けるからには何かの収入が必要ですので、NPO法人格をとり、会員の皆さんに活動を支えていただいています。

地域にはお節介おばちゃんやお節介おっちゃんがけっこういるはずですが。社協や行政に、空いている場所を無料で開放していただければ、もっと活動も広がり、良いつどい場ができていくのではないかと考えています。西宮市では、行政の方も「つどい場が必要だ」と関心を示してくれるようになり、空いている場所を開放していこうという話になってきました。

7年前にさくらちゃんを開設したころは、つどい場の理解はまだまだでしたが、介護保険だけではカバーできない、介護保険のなかでは組み込まれていないつどい場が必要ということが少しずつ言われ始めています。どこの地域でも必要なものが、つどい場ではないかと思います。(つづく)

※この実践報告は、2010年1月23日(土)～24日(日)、仙台市で開催した「地域の居場所・デイサービス全国実践交流セミナーin せんだい・みやぎ」での発表をまとめたものです。

◆ 2 ◆ 新聞記事 ◆ ◆ ----- ◆ ◆

【福山市「高齢者おでかけ支援」、地域に浸透「生活の足」】

交通が不便な山間地などでお年寄りの「生活の足」を確保しようと、広島県福山市が2009年度に始めた「高齢者おでかけ支援事業」が好評だ。

小学校区内の公民館や病院、スーパーなどを巡るワゴン車を住民がボランティアで運転し、会員登録した75歳以上の住民が無料で乗れる仕組みで、市内の6学区で約300人が利用している。市は「高齢者の生きがいがづくりなどに役立っている」として、2010年度は運行する学区をさらに広げる計画だ。

自治会連合会などでつくる応援隊の岸本敬三会長は「家に閉じこもりがちなお年寄りが外出し、交流を深めることで地域に元気が出る。利用者だけでなく、運行を支えるボランティアの生きがいつくりにも貢献している」と効果を指摘する。

*詳細 読売新聞 6月14日

<http://www.yomidr.yomiuri.co.jp/page.jsp?id=26646>

【小規模施設、34%が違反＝グループホーム火災で調査－消防庁・国交省】

総務省消防庁は6月7日、認知症の高齢者らが入居するグループホームなど、小規模な社会福祉施設に行った緊急調査で、全体の34.3%に当たる5,541棟に消防法令違反があったと発表した。特に消防訓練や定期点検などで不備が目立っており、同庁は施設管理者への是正指導を強化する。

調査は3月に札幌市で起きたグループホーム火災を受け、同庁が延べ床面積1,000平方メートル未満の社会福祉施設1万6,140棟を対象に実施した。このうち、グループホーム9,973棟は違反率29.3%、有料老人ホームなどその他の小規模福祉施設6,167棟は42.5%。延べ床面積1,000平方メートル以上を含むグループホーム1万451棟の違反率は28.9%だった。

また、国土交通省は同日、全国の認知症高齢者グループホーム9,952施設を対象とした建築基準法の適合状況に関する調査結果を発表した。4月20日までに調査を終えた5,951施設のうち、14.9%に当たる889施設で防火・避難関係の法令違反があった。違反内容では、非常用照明装置や排煙設備などの不備が多かった。

*詳細 時事通信 6月7日

<http://www.jiji.com/jc/zc?k=201006/2010060700692>

登録の変更はこちら

☆このニュースメールにご返信いただいても☆

☆事務局には届きませんのでご注意ください☆

＝発行・製作＝

宅老所・グループホーム全国ネットワーク

http://www.clc-japan.com/takurousyo_net/

宮城県仙台市青葉区木町16-30 シンエイ木町ビル1階 〒981-0932

＝お問い合わせ＝ takurousyo_net@clc-japan.com

TEL : 022-727-8731 FAX : 022-727-8737

☆TEL/FAX番号は、くれぐれもお間違いのないよう、ご注意ください。☆

=相談専用アドレス= tnet_soudan@clc-japan.com
